

李 変さん

出身は河南省葉県です。七尾で亡くなった李四さんは4人兄弟で私の父の弟です。李四おじさんは国民党の兵隊にとられ行方不明になりました。60数年、何の消息もなくずっととききました。

2005年11月に新聞に、七尾で亡くなった15人の遺族を探しているという記事が出ました。近くに住んでいた張雲亭さんの弟の張延松さん

から連絡があって初めて七尾で亡くなったことを知った。李四おじさんが生死も分からず60数年経ってやっと情報が入り、いったい何と書いていいのか言葉にならない思いでした。そういう思いの中で王水華さんと連絡をとった。60数年、日本政府も企業も李四おじさんが日本で亡くなったことを知らせてこなかった。人間の命が亡くなっているのに、少なくとも道義的にも家族に知らせる責任があるのではないかと思う。おじいちゃんもおばあちゃんも3人の兄弟もずっと帰って来ることを待っていたんです。でも、李四おじさんの消息も分からないまま亡くなってしまいました。人間の命というのはそんなに軽く扱ってもいいものなのでしょうか。命というのはかけがえのない大切なものなのに、どうして遺族に通知するということすら日



本側はしてこなかったのでしょうか。李四おじさんをずっと待っていた人たちもつらい思いをしたまま亡くなってしまいましたし、李四おじさん自身も家族と離れて2度と再び会うこともなく死んでしまいました。本当に悲しくつらいことです。李四おじさんは若く、本当にこれから青春というときに亡くなってしまいました。日本政府と企業は私たち遺族にきちんと納得できる対応をすべきだと強く要求します。ぜひとも私たちが満足できる、納得できる返事をしてほしい。皆さん方、こうして強制連行の被害者のために努力しておられることに、深い感謝を申し上げたいと思います。

王 水華さん

今回、60 数年間ずっと胸の中につかえてきた、じいちゃんたちの苦しい思いを裁判によって訴えようということでも来日しました。きょうは李四さんに対する李変さんの悲しい思いを聞いていただきました。私の父も七尾へ強制連行された被害者です。私は七尾への強制連行の調査をしていますが、それぞれの家にはそれぞれの悲しみの歴史があるのだということを深く感じてきました。その人が強制連行されたために、一家が家族離散になってしまったという例もあります。李変さんと初めて連絡したとき、李変さんはほんとうに声にもならない、「60 年も待っていたのに」という思いでした。日本政府と企業は 15 人の遺族に対して 1 人として死んだということすら連絡してこなかった。今、裁判をしています。日本政府も企業も、少なくとも法的責任を言う前に、道義的に責任を果たしていないではないか。ここに集まって下さった皆さん、こんな事実があったということ、広く伝えていただければと思います。かつての侵略戦争は韓国、中国にも大きな被害をもたらしました。ぜひとも戦争の被害というものを、きちんと次の世代に伝えていくべきであろうと思います。きょうは私たちの思いを語らせてもらう機会をもつていただいたことに深く感謝します。